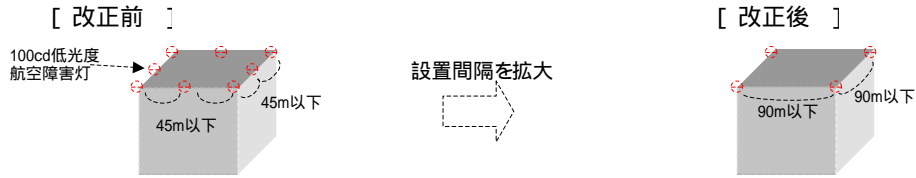


航空障害灯の設置基準の緩和

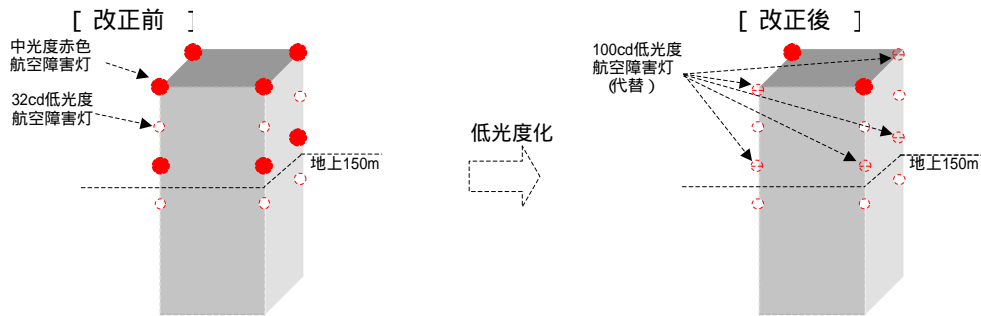
1. 省令改正の概要

(1) 個別高層ビルの設置基準の緩和

高さ150m未満のビル：水平設置間隔の拡大 (例：高さ140m、幅45mを超えるビル)

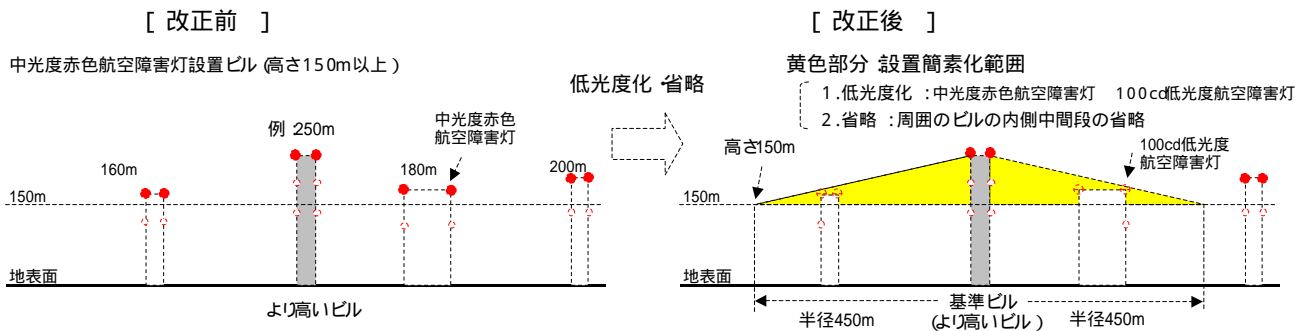


高さ150m以上のビル：一部低光度化 (例：高さ270m、幅45mを超えるビル)

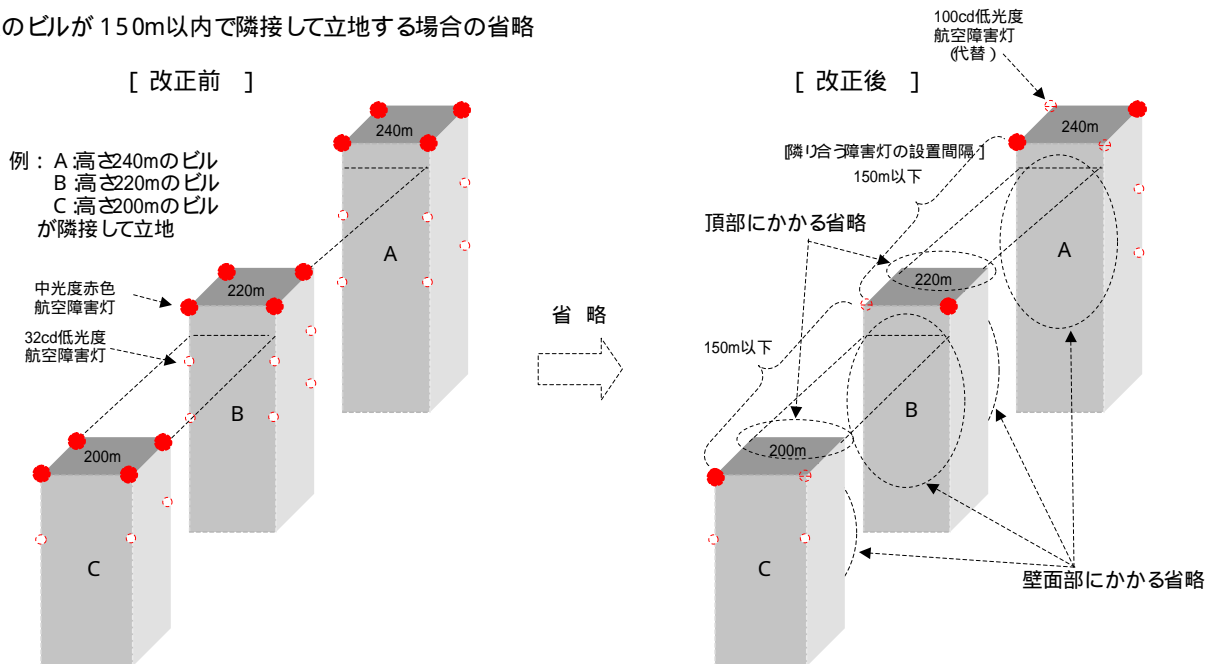


(2) 複数の高層ビルが群立して設置されている場合の設置基準の緩和

複数のビルが450m以内で近接して立地する場合の設置簡素化 (低光度化、省略)



複数のビルが150m以内で隣接して立地する場合の省略



(3) ライトアップ等による代替

例 東京タワー



[新たに規定]

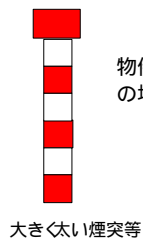
ライトアップ等点灯時における
障害灯の消灯を可能とする

2. 省令改正以外の緩和概要

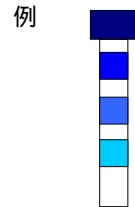
(1) 昼間障害標識(赤と白の交互に塗色したもの)の緩和

高さ150m未満の大きき太い煙突等への昼間障害標識を設置不要とする。

[緩和措置]



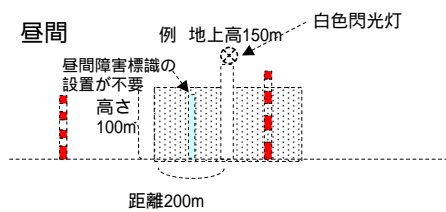
物件の幅が高さの10分の1以下
の場合、昼間障害標識を設置



物件の幅が高さの1/20以上
一定条件を満たした塗色パターン

白色閃光灯 (ストロボライト)による昼間障害標識を設置する必要のない範囲の拡大

[改正前]



[改正後]

